



短い夏を思いっきり

今年の夏は7月に入っても、涼しい日が多く、夏の本番はいつ来るのかと、待ちかねていた人達も多かったと思います。ところが夏休みが始まったとたん、水銀柱がぐんぐん上昇して30度近くまで上る日がやってきました。

この日を待ちかねていた人達は一斉に海や山、湖へとくり出し、思い思いに大自然を満喫していました。北海道の短い夏を、自然とのふれあいの中で、人間と自然の関係について考えてみるのも有意義なことと思います。残り少ない夏を楽しく過ごしましょう。

(写真は、川上自然公園にて)

8月号

1974 No. 177

第4回 登別市社会福祉大会から

第4回登別市社会福祉大会



福祉へ連帯意識を深めようと開かれた大会

社会福祉のための

ボランティア活動

七月二十四日、中央公民館で第四回登別市社会福祉大会が盛大にひらかれました。この大会は、最近の激しい社会変貌によって生じている社会問題のうち、当面する福祉問題について広く関係者を一堂にあつめ、今後の社会福祉活動をどのように展開したらよいかを熱心に話し合いました。その結果、住民の連帯意識を基盤として、住民自体のボランティア活動を具体的にすすめることが熱望されたものです。そこで今回は、社会福祉のためのボランティア活動について、その一端をご紹介してみます。

陰の力として

石油危機からはじまった経済的変動は、わたくしたちの生活の中にもおしよせました。それに派生して社会福祉問題にもその影響を与えていることは、関係者の発言や新聞紙上などで大きく報じられています。

なかでも、地域の独り暮らしの老人、施設における老人、心身障害児(者)など、社会的な弱者に對

する影響は、緊急な課題といえます。とくに、これら老人、子供など

に対応するサービスは、きめ細かな愛の手が必要とされることはいうまでもありません。

こうした社会情勢において、いわゆる在宅保護を必要とする家庭があるわけですが、その活動の中心として、社会福祉協議会やホームヘルパーの活躍があり、その陰の力となっているのがボランティア活動です。

を満たすよう努力することといわれています。

すなわち、「ニードの把握」ということです。いいかえれば、自分がやりたいからやるのではなく、何らかの願いとか問題に直面してそれに自分がどう対応していくかということになるわけです。

ですから、単に「可哀想に」という発想による慈善ではありません。それだけに、この運動のむずかしさがあるわけですが、特別な活動ではないといえることはいえます。

ボランティア活動とは

ボランティア活動は、行政において行なうもののほか、きめ細かいところに手がとどかないことに對し、それを補うといった性格のものも含まれています。

この活動は、あくまでも自分の意志で行なう活動であるといえます。

市役所や、各種団体からの押しつけによって活動するのでなく、自発的な活動により地域の人々が、辛せを高め、不安や、心配を少しでも取りのぞくことによつて、激

しくゆれ動く社会を乗りきる手段として最も大切な活動といえます。ボランティア活動を「社会奉仕」という言葉で表現される場合もありますが、この言葉の中には、可哀想に、というあわれみというか同情の意味も含まれており、自分より劣っている人に対する、あわれみの行為とみられがちですが、ボランティア活動の出発点となるものは、あくまでも相手の願い、欲求(い)「ニード」といわれるもの)を知ることによつて、それ

ボランティア活動の意義

前にも述べたように、今日のようには社会変動のげんげしいこのごろ、いつしか、自分のことしか考えない風潮がみられがちですが、いつの社会でも、精神的に、肉体的に、経済的に欠ける人びとが多いものです。

人間社会において、人間愛による社会的連帯は、いつの時代にも必要とされ、また誰れしもがその

必要性を認めなければならぬと思えます。

しかし、社会のきびしさが増すにしたがい、それが失なわれがちになるものです。

自分さえよければ、他人はどうでもよいといった気持ちが最近では多く見受けられるようになったのではないのでしょうか。

このような、社会情勢の中ではますます必要とされるものは、地域社会の住民の手による、きめ細かな愛の手といえましょう。

そういう意味で、ボランティア活動の必要性が大きく評価されるものといえます。

墓地の草刈りから

市内のボランティア活動をみますと、昭和四十一年に登別青年ボランティア連盟（鳴海文昭会長）と昭和四十五年に発足した婦人ボランティア（砂田チエノ会長）のほかに登別地区日赤奉仕団（宮城キエ子団長）などがあり、それぞれ地道な活動をつづけています。

青年ボランティアは約二十名の会員がいて、活動がつづけられています。その中で主なものをあげると、墓地の清掃、草刈り、駅前広場の定期的な掃除、母子家庭児童の就職援助やクリスマスパーティーなど幅広い活動をつづけています。

一方、婦人ボランティアでは、重症心身障害児施設「ねたきり老人」が入所している特別養護老人ホームなどへ、手縫いのおむつを贈っています。

材料は登別温泉のホテルや旅館から社会福祉協議会に寄贈されるシーツや丹前下を利用して、道内の施設で「おむつを使って

いる人は約一千七〇〇人で、一月に七十八万枚使われている」といわれていますが、現実には必要とする量より極めて少ないといわれています。

登別地区日赤奉仕団でも、この

おむつ不足を解消しようと、活動を続けており、その輪を広げたいとほりきっています。

お問い合せ先は、青年ボランティア会長、鳴海文昭

⑤2111（市役所福祉事務所）

婦人ボランティア会長、砂田チエ

ノ宅⑤5928

日赤奉仕団長、宮城キエ子宅③1

075まで

このほか、日常生活の余力をボランティア活動にかなわけていく多くの青年会、老人クラブ、ライオンズクラブ・ロータリークラブなどのボランティア精神を発揮して

の活動も忘れられませんが、

このようにボランティア活動の求めるものはあくまでも、みんなの幸せであり、相手の願いを満すことにあるでしょう。

ひとりでも不幸な人がいる限り私は幸福には過ごせないのだ……という連帯意識に立って行動を行なうことが必要といえます。

おむつ作りをする婦人ボランティア



以上ボランティア活動の一端をご紹介しますが、要するにこの活動は、自分たちの余暇を利用して、無報酬の活動を自発的に行ない、その中から多くのものを、つかむと共に社会的にもみんなが幸せになるという共通の願いを求めて活動しています。

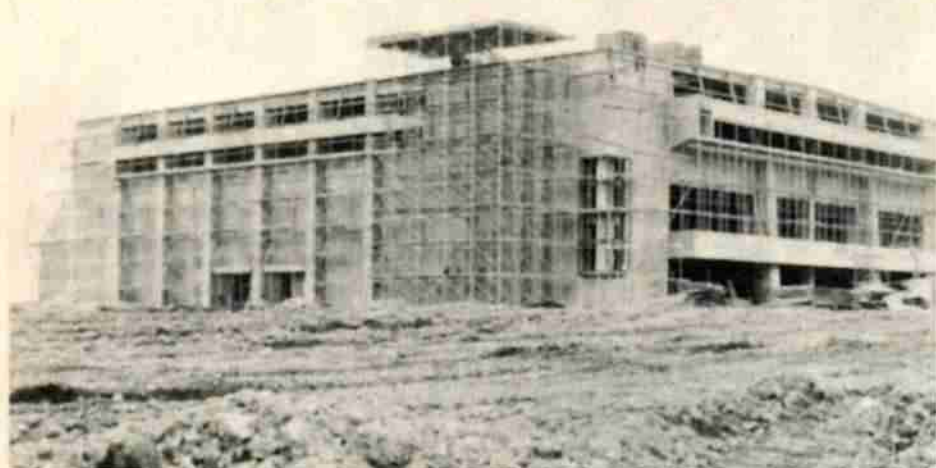
- 自立更生者
- 浪本館（登別温泉町五五）
 - 社会福祉事業功労者
 - 休場春雄（富士町六〇四）
 - 及川年巳（常盤町五〇六）
 - 川端京市（美園町三〇三）
 - 浅沼春次郎（磯別町三〇六）
 - 共同募金会登別市支会長表彰
 - 永年奉仕者
 - 渡谷大一郎（鷺別町一〇三）
 - 小林クニ（登別温泉町九五）
 - 優良団体
 - 登別市婦人団体連絡協議会
 - 優良母子家庭
 - 酒井洋子（常盤町一〇一）

幸せへの共通な願い



自立更生者の表彰式

もう少し ご辛抱ください



建設中の総合体育館が完成しますと、1800㎡の広さでバレーコート2面、バスケット2面、バドミントン8面がとれるほか体操機具なども整備されます。

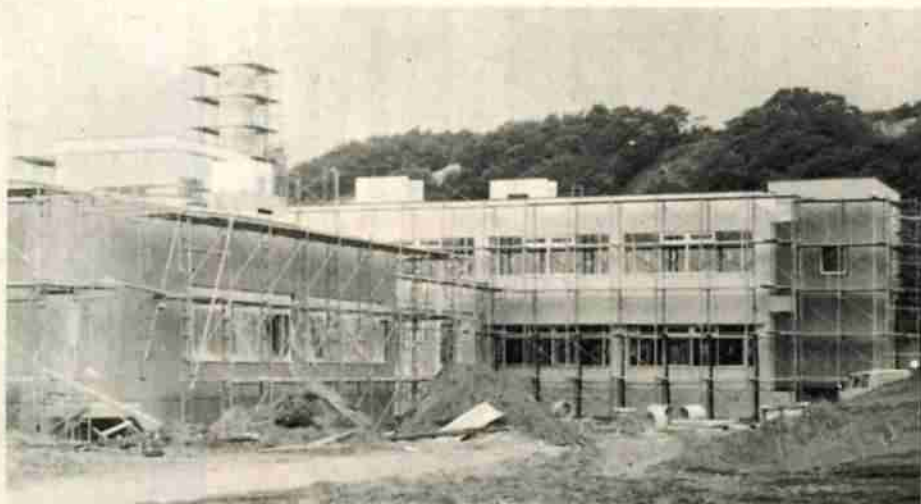


石山通りの舗装は、歩道が3.5m 両側に車道9m で工事が進んでいます。

市内の各地区では、今さかんに建設工事が進められています。
総合体育館は、九月十日が竣工期限で一億九千六百万円の工事費でいま、急ピッチで工事が進められています。
また、登別地区の石山通りの都市計画街路の舗装工事は、第一期工事の歩道整備にかかっています。
歩道舗装の完成予定は十一月三十日まで車道舗装は明年実施の予定です。このほかにも、各種の工事が行なわれていますが、私たちが待ち望んでいる北大病院登別分院の完成は、九月二十日開院の計画で工事が進められています。
もう少し、辛抱いたしましょう。

温泉プールなど着工

七月二十五日の臨時市議会で、三つの大きな工事の契約について議決されました。
労働福祉センターとなり建設する室内温水プールは、十二月十六日まで、西陵中の屋内運動場は十二月十日、東岡地市営住宅四階建ては十二月二十日までの期限で着工しました。



9月20日開院予定の北大病院登別分院

あしらせ

49. 8. 12
No. 57

公営住宅補充

入居者第二次募集

市では、公営住宅の補充入居希望者を、つきにより募集します。

この補充入居とは、今回の申込み者のうちから、入居資格者を選定して、入居順位をつけ登録します。

公営住宅に空家が多くなったときにその入居順位によって、入居できることとなります。

したがって、入居希望者は今回申し込みをしなければ、空家ができて入居できません。

▽募集団地及び種別

緑ヶ丘団地一・二種、幌別西団地一・二種、登別旭団地一・二種、鷺別団地二種、鷺別東団地二種、千代の台団地二種、道宮桜木団地一種、道宮千代の台団地一種。

▽入居資格及び申込方法

公営住宅に入居するには、入居資格が必要です。

入居資格及び申込方法などについては、「補充入居募集案内」に詳しく書いてありますので、お近くの支所または市建築課にきて、お手にとってください。

▽募集期間

八月十八日より二十四日まで

▽申込受付場所

市建築課住宅係

その他不明な点がありましたら住宅係へお問合せください。

中央公民館が 改造されました

「市民コーナー」と「婦人の室」(中央公民館)が完成しました。

みなさんより我が家の延長として利用されており、中央公民館の一部改造により、待望の「市民コーナー」と「婦人の室」が誕生しました。

これからも、みなさんの茶の間として、又学習の広場としてお気軽にご利用下さるようご案内します。

なお「婦人の室」ご使用については、中央公民館にお問い合わせ下さい。

市内公共施設見学会の参加者を募集

市では、昭和四十九年度市内公共施設見学会を次の要領で開催いたしますので、多数ご参加ください。

▽日程及び時間

九月十一日(水曜日)
九月十三日(金曜日)
午前十時～午後三時まで

▽参加資格
登別市民の方であればどなたでも参加できます。

▽参加定員

一回毎三十八名で、応募多数の場合は当方で抽選いたします。

▽申込み期日

八月三十一日(土曜日)

▽申込み方法

葉書又は電話(五二二二二番内線二二〇)で公聴広報課に申込んでください。

▽見学する施設

鷺別保育所、総合体育館、養護老人ホーム恵寿園、西陵中学校図書館、労働福祉センター、登別漁港

▽その他

申込の際は希望月日をお知らせください。締切り後当課より個人宛に葉書でご連絡いたします。雨天でも実施いたします。

巡回家族計画 学級へ

毎月実施している巡回家族計画を次により開設いたします。

この巡回家族計画学級は、無計画な妊娠によって起こる肉体的、精神的な弊害を防止し、妊娠、出産に計画性をもたせて、積極的な話し合いや協力により、明るい健

康な家庭を築いていくためのものです。

▽受講定員 二十名

▽申込方法 電話・葉書にて申込

▽申込先

市保健環境課健康相談所

▽実施日 九月十七日

▽場所 鷺別公民館

たいへんご好評をいただいております。ぜひ一度ご相談ください。

看護婦の資格を おもちの方へ

道では、年々深刻化していく看護婦不足を解消しようという目的で「潜在看護婦講習会」を開催しております。

この講習会は、資格をもちながら、育児・家事などの都合で活躍する機会を逸した人々に、医学看護の再教育を行なうことにより、再稼働を促進させるものです。

●対象者 看護婦・准看護婦の資格を有し、十年前後の未就業者及び就業一年未満の方

●期日 十月十四日～十九日

●場所 苫小牧市立病院職員会館

●講習科目

- 一、看護の基本
 - 一、看護技術
 - 一、医学の動向
 - 一、薬、技術の知識
 - 一、実習及び見学
- 受講料 無料

●申込先 市役所、保健環境課
●申込〆切 九月十日まで

三歳児健診

市では、医師、歯科医、保健婦栄養士による三歳児健診を行ないます。

健診内容は、心身の発育状態、栄養指導、歯科検診などの指導をおこないますので、対象者はもれなく受診され、お子様の健康を確かめ楽しい生活を送ってください。

●対象者

昭和四十五年八月一日から昭和四十六年七月三十一日までに生まれた子。

実施月日	受付時間	実施場所	対象地区
8月26日	13時～13時30分	登別温泉支所	温泉町、カルルス町、中登町
8月27日	9時30分～10時	鷺別支所	鷺別町
8月27日	13時～13時30分	鷺別支所	美園町、富岸町、若草町
8月28日	13時30分～14時	鷺別支所	富浦町、登別本町、登別東町、札内町
8月29日	9時30分～10時	中央公民館	桜木町、大和町、幸町、新川町、千歳町
8月29日	13時～13時30分	中央公民館	富士町、緑町、幌別町
8月30日	9時30分～10時	中央公民館	若山町、栄町、柏木町、新生町、片倉町
8月30日	13時～13時30分	中央公民館	中央町、常盤町

手話を学ぼう

このたび当市に於て、ろうあ者と健聴者との意志の疎通を計るべく、手話を学び、手話通訳活動を行なう人々を養成し、ろうあ者の福祉向上のため手話講習会を開催します。

○開催月日 九月八日(日曜日)
○開催場所 中央公民館二階ホール

○受講対象者

- ・手話サークルの会員
- ・ろうあ者(児)をもつ家族
- ・ろうあ者と同じ職場の人
- ・ろうあ者と接する機会が多い人

○受講人数 四十名

○講義内容

- ・ろうあ者と接する場合の心構え
 - ・手話法の理論と実技
 - ・身体障害者福祉行政概論
- 受講希望者は市役所社会課社会係へ申込みください。

精神薄弱者

判定相談を実施

市福祉事務所では、精神薄弱者の医学的判断、心理、職能、社会的判定により、医療費の助成、施設入所、就職、生活指導、障害年金受給等の相談を行います。

また、今年度からは、重度精神

薄弱者を介護する家族に対し介護

手当の支給、交通費の補填、各種の援護措置を受けるための療育手帳の交付等の事業が実施される予定になっておりますので、希望者は福祉事務所へ申し込みください。

※期日 九月五日(木)午前十時
より午後四時まで

※場所 中央公民館
※申し込み期間
九月四日まで

なお、当日は保護者の付添いを要します。

新町名には市名

郵便番号もハッキリと

四月から新しい町名が誕生しましたが、その中で、栄町、中央町、緑町、常盤町、幸町は、室蘭市内にも同じ町名がありますので、郵便局で郵便の区分けに迷うことがあります。

たとえば、「市内栄町」と書いた郵便物が投函されますと、登別市内の一部のポストを東室蘭局が集めていることもあって、両市の間を無駄に往復し、郵便が遅れることがあります。

これらの郵便物の宛名には、特に市名と郵便番号を、はっきりと書いて出してください。

(室蘭郵便局)

計量器の定期検査を

はかりは、正確さを保つために年に一度定期検査を受けなければなりません。

北海道計量検定所では、次により定期検査を行います。

この検査を受けなければ、罰せられるばかりでなく、そのはかりは取引に使用することができなくなります。

正しいはかりを使用するため、必ず定期検査を受けてください。

なお、今回は小型はかり(2千以下)の定期検査です。(大型はかりは10月末に予定しています)

計量器定期検査日程表

実施日	実施場所及時間	検査対象地区
8月26日	登別商工会館 10:00-15:00	観別町 中央町 富士町 常盤町
8月27日	登別商工会館 10:00-15:00	千歳町 桜木町 青葉町 柏木町 新川町 鉦山町 片倉町 緑町 幸町 大和町 新栄町 若山町1-3丁目 高岸町1丁目
8月28日	登別公民館 10:00-15:00	観別町 上観別町 美園町 若草町 新生町 栄町 若山町4丁目 高岸町2・3丁目
8月29日	登民会館 10:00-15:00	登別本町 登別東町 登別港町 中登別町 高浦町 札内町
8月30日	温泉公民館 10:00-15:00	登別温泉町 カルルス温泉町



あなたの免許証は大丈夫ですか
失効させていませんか。

もう一度、免許証の有効期限を確かめましょう。

免許証の有効期限は、あなたの免許証に記載されている「年月日」までです。

有効期限が誕生日でない免許証をお持ちの方は、その免許証を更新して、初めて誕生日が有効期限となります。

このことを誤解して、有効期限が自動的に誕生日になると思っていると、免許証を失効させることとなりますので、もう一度、有効期限を確かめましょう。

免許証の更新手続き

○免許証の更新ができる期間
有効期限の一カ月前の、同じ日から有効期限までです。

例、昭和四十六年六月十日に、免許証の交付を受けた方は、昭和四十九年五月九日から六月九日までの間に手続きができます。

○写真一枚
白黒、カラーいずれでもよく六カ月以内に撮影した、大きさとて三、よこ二・四、無背景、上三分身のもの

○物品寄贈
持丸虎太郎 百三十二枚
木原一男 石油ストーブ 一台
《登別温泉老友会へ》
高山とみ 十万円
《のぞみ園へ》
小玉源五郎 三十万円

○寄贈ありがとうございます
ごさいます

《社会福祉協議会へ》
○愛情銀行
登別地区民生委員一同 三万一千六百七十五円

○更新をされた方は、新免許証が交付されるまでに講習を受けることになっていきます。

講習の日時、場所等については更新手続きの際、警察の窓口で案内いたします。

(室蘭警察署)

○手数料 一千元

○タイプ料 八十円

○免許証、印鑑

○住所を変更した方は、新住所地を確認できる文書(手紙、身分証明書等)

○本籍が変わった方は、住民票の写し

○氏名が変わった方は、戸籍抄本と住民票の写し(住民票に、新旧の氏名が記載されている方は住民票だけでよい)

更新をされた方は、新免許証が交付されるまでに講習を受けることになっていきます。

講習の日時、場所等については更新手続きの際、警察の窓口で案内いたします。

(室蘭警察署)

平均小売価格調べ

物価5.3%上がる

市が委嘱している消費生活モニターが調べた7月の平均小売価格状況は、つぎの表のとおりです。

これによると、前月より市内の平均小売物価は、5.3%上がっています。

この小売物価の上昇は、秋ぐちまで続くものと見込まれており、登別市においても、平均2~5%の上昇が続くものと思われま

7月平均小売価格

品目	種類	単位	平均価格	対前月比	対前年比	
菜	はくさい	100g	7.5	8.7	△ 40.9	
	きゃべつ	100g	5.5	△22.5	△ 35.3	
	大根	100g	7.7	5.5	63.8	
	玉ねぎ	100g	11.9	33.7	12.3	
	きゅうり	100g	27.9	35.4	114.6	
生鮮魚介	さば	100g	25.0	27.6	73.6	
	ほっけ	100g	23.3	△ 8.3	△ 4.1	
	まがれい	100g	46.1	13.5	21.1	
米	標準価格米	10kg	1532.5	△ 0.1	△ 3.7	
	内地米	10kg	2407.5	△ 3.0	19.0	
肉類	豚肉(上)	100g	121.2	1.4	13.7	
燃料	プロパンガス	10kg	1450.0	0.0	34.1	
	灯油	石油缶入	18ℓ	656.4	△ 0.4	74.8
	ドラム缶入	200ℓ	6887.5	△ 0.2	86.5	
衣	シャツ	半そで	1枚	566.3	1.8	46.9
	長そで	1枚	812.0	△ 0.6	66.3	
	イシャツ	1枚	1997.1	8.6	9.1	
理美容	理髪代	1回	1225.0	1.0	51.9	
	パーマ代	1回	3043.8	△ 0.2	33.8	
クリーニング	ワイシャツ	1枚	83.8	4.8	39.0	
	スカート	1着	188.6	5.5	29.5	

登別 地獄まつり

期間 8月23・24・25日

本年も、八月二十三日より三日間、登別温泉を舞台に、登別地獄まつりがおこなわれます。みなさまのおでかけをお待ちいたしておりますので、ご家族そろっておいでください。

なお、当日は、昨年同様歩行者天国を、室蘭信用金庫登別温泉支店から大黒屋本店前まで実施しますので、車でお出かけの方は、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

◇規制時間
八月二十三日(金) 十二時から二十二時まで
八月二十四日(土) 十四時から二十二時まで
八月二十五日(日) 十時から二十時まで

行方不明者 相談所を開設

道内では、毎年約七千人の方がいろいろな事情で家出をされ、そのうち行方がわからないままの方は、約一千四百人おります。

昭和三十九年から現在まで、約一万数千人の方が行方不明のままとなっておりま

このなかには不幸にも犯罪の被害を受けている方や、すでに死亡し、身元がわからないまま無縁仏として葬られている方もあります。

道警察では、このような不幸を少しでもなくしたいということから、毎年九月に行方不明者相談所を開設してきました。

本年も、九月十一、十二日の両日に室蘭警察署で、相談所を開設し、みなさんの相談を受け、道内はもとより全国的な調査をいたします。

「あの人は、どこで、どうしているだろう」と日夜その消息を案じて、心をいたためておられる方はご遠慮なくおいでください。

なお、個人の名誉と秘密は厳重に守ります。

(北海道警察本部)

たばこは
市内で買いましたよ

郷土資料を保存しよう

私たちの身边には、貴重な資料となる品が数多く残されています。生活の様式が年と共に急速に変わりつゝある現在、不要となる品のうち後世に伝えたいものや、物置の片隅に眠っている品々も、郷土の歴史を知る上に、一つの手がかりとなる重要な資料です。

これらの資料には、先祖の血のにじむような努力によって、登別市発展の基礎を築いた歴史のあとがしみて残されています。

私たちは心から感謝し、尊い民族資料として、永く子孫に伝えたいと思います。

どうぞ資料室の充実に、ご協力ください。ご寄贈して戴いた品は郷土資料として、お名前と共に台帳に記入し永く保存いたしたいと考えます。

現在、資料は約二千点、みんな

市民の協力によるものです。資料としては、次のようなものを集めようとしています。

- 生活、生産、通信運搬、娯楽、嗜好、行事、人の一生などに使ったものの外、動植物の標本、古地図、古文書、写真、絵画、鉱物、岩石、化石、石器、土器などです。

なお、連絡先は、
登別市中央町五丁目
登別市立図書館

電話 五―四三二四

◎郷土資料のご寄贈ありがとう

- 山崎 正一 掛軸 一〇本
- 屏風と額類 六点
- 国芳の版画 外四点
- 銘石化石 四七点
- 窓簾 一点
- 雪下駄 外三点
- 手ミシン 外五点
- 高橋慶次郎
- 村田 トク
- 柿下侍叙香



明治の八角時計
大変めずらしいものです。

水道料金改定の 説明会を開きます

水道料金の引上げは、九月から実施いたします。

その理由や改定内容について広報七月号の中でお知らせしましたが、皆さんのより深いご理解とご協力を得て水道事業の円滑化を図るため、次により地区毎に改定理由、内容についての説明会を開きます。

併せて水道事業に関するご意見、ご希望をうけたまわることになった、しましたのでぜひ最寄りの会場にご参会ください。

説明会日程

月日	時間	会場
8月22日	13時~15時	ひまわり園
23日	〃	別館
26日	〃	別館
27日	〃	富中
28日	〃	中央
29日	〃	温泉
30日	〃	登別



のぼりべつ ミニコミ

今月号から、登別市をいろいろな角度から見ると、「登別ミニコミ」欄を設けました。

私たちの住む登別市は、いったいどんな街でしょうか。また、登別市の人々はこのように動いているのでしょうか。こうした疑問をもつたことはありませんか。

統計の数字、日常の業務、

郷土資料、長老のお話、若い人の見た登別などいろいろな角度から見た登別市の実態を、「登別ミニコミ」欄で紹介してみようという計画しました。

市民の多くの方々からの情報提供をよろしくおねがいいたします。

今回は、市民課から出た昭和四十九年四月一日現在の、市民の主な指標となる数字を見てみましょう。

人口密度は登別市の総面積二万一千三六一平方メートルに対し、人口が五万八二人ですから、一平方メートル当たり二三九・九人が住んでいる

ことになりま。また、世帯数は一万四千六三三世帯ですから一世帯当たり三・四人が平均の数字となっています。

出生の数は四十八年度中に九七九人で一日に平均二・七人ずつ赤ちゃんが生まれていることになりました。死亡は三一人で一日平均〇・九人亡くなっています。

この数字を全道平均と比較すると、江別・札幌・苫小牧に続いて急激に発展している事が解ります。

市民の声

市民参加による都市づくり

新しい都市は、とかく公共施設や道路、下水など、都市としての環境整備が、立ち遅れていると耳にいたします。

私もいろいろと不便を感じているのですが、しかし、都市は一年や二年でつくり上げるものではないと思うのです。ローマは一日にしてならず、という名言がありますように、都市の建設は十年、十五年のものでないのです。百年の大計、という言葉がありますが、百年と言わないまでも、少なくとも五十年ぐらいを期間として考えなければならぬと思うのです。外国の都市をこらんなさい。わが国だって本当にいい都市をみてこらんなさい。その点をまず前提として考えたいと思います。

また、都市は市民が自らの手でつくるということです。都市に住む人々が、自らの力で、自らの知恵でつくるのが都市です。都市づくりには政府の施策や外部からの助言も必要ですが、何と云ってもその基本は、地方自治のメカニズムの中で、市民の手によってつくられていくことです。自らつく

つたものには責任があり、批判があればこれに対する反論もあり、受けて立つ義務も出てまいります。自ら都市づくりに参加したり都市運営に対する主張、することが何にもまして大きな愛着であり、魅力となるのです。

最近、チャイムを鳴らさないでゴミを集取しているようですが、その理由をお知らせください。

(登録本町会)

以前はチャイムを鳴らして市民に周知を図り収集しておりましたが、騒音との苦情があったことや作業能率の向上を考え、以来鳴らしていません。現在、登別地区のゴミ収集は週二回(水・土曜日)の定期収集を実施しておりますので、収集の当日午前九時までに所定のステーションに出していただくようお願いいたします。

(清掃課)

犬のくさりを針金に通して飼っているため、急に道路ぎわまで飛び出し危険なのですが、このようにしてよいのでしょうか。

(一市民)

飼い主は二層以内のくさりでつなくなど、人に危害のからぬようにはしなければなりません。お互いに、迷惑をかける。このないよう飼ってください。

(清掃課)

(川柳)

何気ない言葉が胸をつく落ち目

南 佐智

地下足袋の汗に明日を置いて脱ぎ

志水 点滴

俸せが両手にあまる里帰り

狩野 美星

くたびれた靴も磨いて妻の朝

畑 虹児

あどけない寝顔叱った今日を悔い

岩永 福次

せめて地図がこんで夢を走らせる

三春日満寿

少年と稚魚旅立ちへ空の青

石山 嘉子

明日ありと無駄に過ごした

高野 恭子

今日を悔い

日置 喜己

過ぎし日を思い噛みしめ強く生き

木戸ミサ子

おふくろは近くにあつて

勝間 一憲

見えぬもの

錦織 玲華

麻痺の手のタンポポ春は

菅原美保子

天びんのつり合いとれた夫婦仲

芳賀 吉子

給料日夫のわがまま聞き流し

和田 ヤエ

おこないで示す努力に子も悟り

工藤 朗

あの時は済まなかったと所作が言い

田沢 政枝

姑に似た嫁のしぐさが丸く生き

沢野 秀湖

まな板のリズムが朝を呼び寄せる

加納 美舟

子を渡す橋を夫婦で組み立てる

加納 愛山

(俳句)

たんぼの絮吹く汽車に

市岡美智子

春の湖母呼ぶ声を透明に

前田 一生

鄙びたる温泉でありけり青嵐

松重ひろ志

老ひの眼の眼鏡替えても春がすみ

三田 麗波

市民文芸

散り散りて運速の桜混り咲く

白井長流水

声あらく海霧の鉄路に貨車放つ

中田 暁村

万緑や胆振の山なみ高からず

小野たかし

梅雨空の下なる喪の家昼とし

大西 素牛

海霧雨となりて郭公吃り鳴く

今野 広人

一年をここに掛けられ蠅たたき

中里 ユキ

入梅や無理に持たせる黄色傘

川口 静波

やわらぐり水面に芹葉摘む

高山 白翠

ひともとの老いし桜や庭の心

土屋 静風

花サビタ幾重に富む夕あがり

木村 凍郷

(短歌)

風いでて浜萩の岩怪奇めき

白井長流水

釣糸たぐる昏れなすむ頃

村瀬 梅子

柄の浦小雨に煙る仙酔鳥

中村 肆基

吾北国に悠愁の感

中村 肆基

ゆがみたる物置裏を耕せば

中村 肆基

かくれし猫の素早き走り

中村 肆基

久に逢う姉のお点前まきりたる

中村 肆基

様にしばしを見はれていたり

中村 肆基

きつちりと草履が二足並びいる

中村 肆基

新婚の縁に朝陽さし入る

吉田 文枝

物価高騰を日日記事にせし新聞社

吉田 文枝

恋を知る乙女の如く赤く燃え

吉田 文枝

陽に真向かいて咲くけしの花

今田ヒデア子

つややかにたわわに熟るる桜桃を

石村スズエ

口にふくめば夏の陽まぶしく

石村スズエ

柿下侍叙香



中央公民館でひらかれた料理教室

公民館活動さかん

公民館活動のさかんな登別市ですが、各種の公民館講座のうち、七月十三日から十九日まで四回にわたって料理教室が開設されました。

この料理教室には、千野明子先生を講師として迎え、三十名の婦人が熱心に参加を通じて料理を学んでいました。

定員三十名に対し、五十名程度の応募があったことから、鑑別、登別でも実施する計画です。



北電から寄贈をうける高田市長

郷土資料展ひらかる

市民から寄せられた、郷土資料のうち、昭和二十年頃まで使われた生活用具類を図書館三階ホールに陳列し、七月二十三日から八月九日まで郷土資料展を開きました。



多くの郷土資料(写真)のうち生活用具類を展示しました

北電が水銀灯を寄贈

七月二十四日北電室蘭営業所長大場彰氏が、地域福祉のためにと水銀灯二十基を昨年にひきつづき寄贈するため市役所を訪れました。市では公共施設に使います。

故森谷喜内殿に叙勲

永年、警察官として市民の治安に功績のあった、故森谷喜内殿にこのたび正七位勲八等瑞宝章が授与されました。

森谷さんは、富士町一―三―五に住んでおられましたが、去る三月二十七日病氣のため六十四歳で亡くなられました。

市の人口

(7月末現在)

総人口	50,379	(増 181)
男	25,178	(96)
女	25,201	(85)
世帯数	14,805	(75)
() 内は先月との増減		

話し合いのある明るい家庭



青少年の非行を防ぐために

体力づくりメモ

*休息のとり方

食事ときの団らん



入浴はあまりあつくなく...



静かなムードで.....



つかれた夜は早くおる



真夏は昼寝と小休止



*休息は明日の糧

良

不可

●家庭で楽しく



●仕事場りに長時間
●時間をまわす夜おそくまで(外でのみすぎはし二酒)



●仕事の合間や
つかれたとき



●仕事中のくおえタバコ
●だ性でのむタバコ



●目の位置で少し離れて
●よいもの、好きなもの
だけを選んで



●高座になつてみつめる
見方
●チャンネルを変えては
2時間3時間



●せん縮された露買眼で
●回数は月1-2回まで



●つづけざまに
何時間でも



雑感(その四)

学生の利用について
図書館の利用が増えていく中で
学生の利用は、昭和四十八年度で
登録者数九二二人、貸出冊数七千
二六四冊と市内の在校生二千三三
二人からしてそう多い利用ではな
いと思われまふ。
学生(中学生、高校生)は、当
然受験勉強が必要ですから、図書
の利用というより図書館を勉強場
所として利用する方が多いよう
です。
ただし、貸出しを受けないので
入館者としては、一般と比較して

高い数字を示しています。
また、入館者の中には、友達同
志が憩の場所のように考えて、図
書館利用者としてふざわしくない
状態が時々みられます。
他の利用者に迷惑を及ぼすこと
にもなりますので、公共の場所
あるとの自覚のもとに節度ある行
動が望まれています。
現在、学生閲覧室の座席は四〇
キヤレル室の座席は七と非常に足
りなく感じられますが、これは図
書館建設計画を考えた段階での座
席数です。
最近の近代化された、公共図書
館のあり方としては、図書館はあ
くまでも資料を提供するところ

あつて、座席と机だけを提供する
ところではありません。
言いかえれば、席貸しは図書館
の機能ではないと言われています
が、現在の市街地状況、住宅事情
家庭環境などを考えますと図書館
の理想像には、今すこし足りない
ものが感じられますが、学生の方
もこれら図書館のあり方を理解さ
れ、図書の貸し出しを多くうけら
れるよう希望いたします。
今後も学校図書館との連携いを
深め、図書の選択にあたっても学
生の利用状況を把握し、学生にあ
つた資料も、豊富にそろえますの
で、さらに多くの学生が利用する
ことを期待いたします。

暮しのしおり

残暑

食欲がおとろえ仕事の能率が
おちるのは、暑さのせいではな
うか。
暑さは、からだにこたえます
が、夏の暑いのは毎年のことで
当然です。いままでは暑さもき
びしかったのですが、これから
は残暑と思えば、もう先は見え
ています。こよみの上では七日
が立秋です。

まだ、中旬までは暑さは当分
つづきそうですが、この暑さに
まけないからだをつくること
が大切です。
午前中にやればできることを
夜、涼しくなるのを待つてから
では、しぜん夜ふかしすること
になり、朝、床から離れにくい
ということになるわけです。

「朝ツユを踏む」ことはむかし
から健康の妙薬といわれていま
す。まだ日の上がらないうちに
庭先をハダシで歩くのは、今日
でも健康法のひとつです。
つまり、暑いときには足のほ
うに血がいつて脳貧血を起こし
たり、反対に、足のほうが貧血
すれば骨盤内にうっ血を起こす
わけです。朝早く起きてハダシ
で庭先を歩いてはいいががしよ
う。